

One for all, All for one

第20号
平成31年2月25日発行

少しずつ春の足音が近づいてきましたが、まだまだ気温の低い時期が続いています。しかし、寒くても、雪が降っても、子供たちは変わらない元気な姿を毎日見せてくれています。風邪やインフルエンザの流行も気になります。学校では、子供たちの日々の変化に気を配り、心身の不調がないか普段から確認しています。ご家庭でも朝の「おはようございます！」のあいさつが昨日と変わらない元気なものか、帰宅した際の「ただいま！」のあいさつが、明るいものであるか、ぜひ確認してください。

【進路希望概況について】

12月に実施された進路希望調査の概況をご紹介します。概況を見ると、進路希望が未定という子供は全体の1割程度見られましたが、多くは進学希望か就職希望かが決まってくるようです。中には、具体的な学校名や企業名を挙げている子供もあり、進路先について詳しく調べている様子がうかがえます。大学進学を希望する子供にとって、その4年間は社会人になるための貴重な準備期間と言えます。だからこそ、大学進学後のミスマッチは極力減らすべきであり、広い視野で進路選択をする必要があります。一方で、高校卒業と同時に就職する生徒は、進学する高校生よりも早く社会人になるという誇りと覚悟が必要となります。1学年では、生徒の1日も早い進路決定を目指すとともに、卒業後に向けた準備も意識させながら、進路指導を心掛けていきたいと思います。



◎進路希望概況

学 年	81HR	82HR	83HR	84HR	85HR	86HR	計	割合(%)
在 籍	40	40	38	38	41	40	237	
民間就職	10	10	26	20	25	19	110	46.4
公務員	5	3	2	1	3	3	17	7.2
大学短大	11	10	7	5	3	3	39	16.5
看護学校	0	2	0	0	0	1	3	1.3
各種専門	6	8	3	5	7	6	35	14.8
未定	7	7	0	7	3	7	31	13.1
計	39	40	38	38	41	39	235	99.2

【ワンポイント！】



1年生が終わろうとしているこの時期は、高校生活にも慣れ、気が緩んでしまう人が増える時期でもあります。そんな時期だからこそ、新しいものと出会う機会を増やしてみましょう！大学や専門学校のオープンキャンパスに参加する、テレビや新聞で世の中の情報を集める等、自分が知らないものと出会うことで、少しずつ目標を明確にでき、前向きな気持ちが生まれるはずです。

【合同合唱について】

2月15日（金）のLHRでは、音楽授業選択者による「合同合唱」が行われました。美術選択者と1学年の先生方が見守る中、134名の子供たちが筒井雅子作詞・作曲の合唱曲「あなたへ～旅立ちに寄せるメッセージ～」を熱唱しました。音楽を指導している佐藤淳先生の話では、「クラスの男女比が異なる中、音を合わせるのが難しかった。黒川高校では初めての試みでしたが、子供たちは大きな声を出してくれました。



合唱の様子

機会があれば、またチャレンジしてみたい」とのことでした。共通の目標に向かって協力し合い努力した結果、当日初めて音合わせをしたとは思えないくらい息がぴったり合っている合唱でした。

【今後の主な予定（1学年関係）】

- 2月21日（木）後期期末考査（～26日）
- 27日（水）進路ガイダンス（特編3時間）
- 28日（木）卒業式予行、予餞会（1・2年生は12：35頃放課予定）
- 3月 1日（金）卒業式（1・2年生は9：00登校）
- 4日（月）答案返却日（特編6時間）
- 6日（水）家庭学習日（～14日） ※期間中は学年から課題が出されます。
- 15日（金）特編3時間授業（～20日）
- 22日（金）修業式、通知票配布、大掃除

【学年主任として思うこと】

今回テーマは「不登校」です。不登校の増加は全国的に社会問題化しています。特に、本県では、中学校で全国と比較して高水準で推移しています。

不登校は、いつでも、どんな子にも起こり得ます。しかし、家庭と学校が協力して、子供の自立のための関わりを継続して行っていけば、未然防止につながったり、不登校になったとしても、成長のための有意義な時間にしたりすることができます。以下は宮城県教育委員会から出された「中学生の子供をもつ保護者のみなさんへ（<http://www.pref.miyagi.jp/site/gikyoku-kkr/kkr-hogosya.html>）」における「お子さんとのふれあいについて」を抜粋したものです。親子の関わりの参考にしていただければと思います。

- ・思春期の子供の声に耳を傾け、愛情を込めて声を掛けるなど、子供とのコミュニケーションを大切にしましょう。
- ・家族一緒に食事を大切にするとともに、子供に家庭の役割を分担させて、その頑張りを認め、家族の一員としての自覚を持たせましょう。
- ・子供が日常生活の中で、自分で考え、判断し、行動する場面を作り、自立心を養いましょう。
- ・子供が真剣に取り組めるものを見付けさせ、努力していることを認め、励まし、自信を持たせましょう。